

新次元林業プロジェクト

森林林業を「核」とした「地方創生」の実現を目指して

戦略目標 <10年後> (H36(2024)年度まで)

| | 【プロジェクト開始前】 (H16) | 【現状】 (H26) | 【目標】 (H36) |
|-----------------------|-------------------|---------------------|---------------------|
| ■ 県産材の生産・消費量 | 17万m ³ | ⇒ 28万m ³ | ⇒ 60万m ³ |
| ■ 新規林業就業者数 (H17からの累計) | 一人 | ⇒ 228人 | ⇒ 546人 |

実現に向けた行動計画 (H27~H30)

川上 (林業生産)

森林施策

主伐を推進するため、森林経営計画の作成支援、造林の負担軽減策に取り組みます。

「ウッド・ソリューションセンター」の設置【H27~】

生産基盤

生産量の増大に必要な高性能林業機械の導入や改良、路網整備を進めます。

本県地形に適する「主伐生産システム」の構築【H28構築】

担い手

人材養成で高校・大学と連携し、新規就業者の確保、育成機関を創設するとともに、起業や技術向上支援に取り組みます。

「とくしま林業アカデミー」の開講【H28開講】

「林業機械サポートセンター」の創設【H27創設】



林業アカデミー開講



林業機械サポートセンター

川中 (木材加工)

加工体制

加工体制の充実や高品質な製品づくりを支援します。

A~C材の加工強化、バイオマス発電 (D材) に対応する加工体制の構築

流通体制

増産に対応した原木仕分け、津田木材団地など製品の流通拠点を整備します。

生産地の近くに「サテライト工場」を整備【H30 4箇所】

高速道路の整備とあわせた津田木材団地の整備

商品開発

木材利用創造センターを拠点に新商品開発に取り組みます。

オリンピックや輸出に対応する新規用途、商品の開発

【H30 10品目】



バイオマス発電



オリンピック向け商品の開発

川下 (木材利用)

県内需要

関係団体と連携して官・民の積極的な県産材利用を推進します。

「木造建築コーディネーター」による公共木造の推進

「とくしま木づかいプラザ」の設置【H27 設置】

木育

県民それぞれのニーズに応じた木育活動を進めます。

「とくしま木育情報センター」の設置【H27 設置】

木育拠点「すぎの子木育広場」の設置【H30 20施設】

県外需要・海外輸出

オリンピックを契機に東京を中心とした販売促進や海外輸出の支援体制を強化します。

県産材木造住宅輸出棟数【H30 50棟】

四国4県連携木材輸出プロジェクト(仮称)【H27~】



木育広場の設置



県産材住宅の輸出